

# 父の日 感謝のパン作り 松山の幼稚園 パパも挑戦 強まる絆

お父さん、いつもありがとう。19日の父の日を前に、松山市西垣生町の木の実幼稚園で18日、園児約170人が感謝を込めたパン作りに挑戦した。年長の石田英也ちゃん(5)は、お父さんの似顔絵パン。父雅春さん(46)はラグビーボール形のパンと一緒に完成させた。

英也ちゃんはお父さんを見ながら、目や鼻などを少しずつ作り、まん丸顔につぶらな瞳のプレゼントを仕上げた。雅春さんも「大きい口やなあ」と笑いながら、英也ちゃんのために小さなラグビーボールを作った。昨年、ラグビー日本代表の活躍を見て、五郎丸歩選手を好きになった英也ちゃんに、雅春さんはボールを買い与えた。公園で一緒にパスやキックの練習をするのが2人の楽しみの一つになっている。

雅春さんは高校、社会人とラグビーをしており、国体出場経験もある。「(ボールを)蹴るのが楽しい」という英也ちゃんに目を細め、「普段は仕事が忙しく、ほとんど一緒に遊べていない」と申し訳なさそうに語る。

市中央卸売市場に勤めるため朝が早く、夜は英也ちゃんより先に寝る生活。実家がかんきつ農家で、収穫期などは手伝いで家を空けることも多いという。「慣れているみたいだけど、やっぱり寂しいのかな。たまに家に居ると、『今日は何してるの?』と聞いてくる」。幼稚園生活最後の年。少しでも時間をつくろうと、仕事を調整してパン作りに参加した。



一緒にパン作りを楽しんだ石田英也ちゃんと父雅春さん  
11 18日午前、松山市西垣生町の木の実幼稚園

「一緒にうれしかった」と英也ちゃん。雅春さんは「もっと遊んであげるとね。ラグビーは危険やからあまり勧められんけど。でもなかなか上手なんよ」と少しうれしそうに語る。大きな手で抱き上げられた英也ちゃんも、照れ笑いを浮かべた。

(伊藤絵美)